
早稲田大学大学院商学研究科

修士課程（推薦）入学試験要項

2025 年 9 月／2026 年 4 月／9 月入学

目次

1. 出願	p.3
（1）募集人員	p.3
（2）出願資格	p.3
（3）5 年一貫修了制度	p.3
（4）出願日程	p.4
（5）入学検定料	p.4
（6）入学検定料返還	p.4
（7）出願書類作成上の注意	p.5
（8）出願書類一覧	p.5
（9）推薦サポート制度	p.6
（10）受験票	p.6
2. 入学試験	p.7
（1）選考日程	p.7
（2）選考方法	p.7
3. 入学手続	p.7
（1）入学手続締切日	p.7
（2）入学手続書類	p.7
（3）入学に関する注意点	p.7
（4）学費・諸会費	p.8
（5）奨学金制度	p.8
（6）教育職員免許状	p.9
4. 受験上の注意事項	p.9

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・ウェアラブル端末等の通信機能を持った電子機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

<個人情報の取扱いについて>

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

早稲田大学大学院 商学研究科商学専攻のポリシー

1 学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

早稲田大学の総合性や伝統を生かし、多様な学問の知識を教授することにより、グローバル化する社会において主体的に貢献できる人材を育成する。とくに商学とその関連領域についての高度にして専門的な学術の理論及び応用についての研究と教授を行い、その深奥を究めることによって、広い視野と的確な判断力を備えたリーダーとなるべき学生の教育に努める。

修士課程においては、専門分野に関して、精深な学識を受け、研究者または高度専門職業人に必要な能力を養成する。

博士後期課程においては、自立した研究者として研究活動を行うために必要となる能力と学識を備えた学生を育成する。

上述をふまえ、商学研究科では、各課程の修了時に身につけておくべき能力を以下のように定める。

【修士課程】

学修成果 1：自らの専門領域に関する専門知識および分析技法を修得している。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：1～2年次

直接評価：関連科目の成績、演習科目と研究指導での取り組み状況

間接評価：修了生調査

学修成果 2：研究を進めるにあたって必要なコミュニケーション能力を有している。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：1～2年次

直接評価：演習科目と研究指導での取り組み状況

間接評価：修了生調査

学修成果 3：専門領域における内外の学術研究を理解している。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：1～2年次

直接評価：関連科目の成績、修士学位論文

間接評価：修了生調査

学修成果 4：独自性のある研究を実施できる。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：2年次

直接評価：修士学位論文

間接評価：修了生調査

【博士課程】

学修成果 1：自らの専門分野に関する極めて深い知識と高度な分析能力を備えている。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：1～3年次

直接評価：演習科目と研究指導での取り組み状況

間接評価：修了生調査

学修成果 2：国内外の研究者と研究上必要なコミュニケーションがとれ、自らの研究成果を適切に発信できる。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：1～3年次

直接評価：演習科目と研究指導での取り組み状況

間接評価：修了生調査

学修成果 3：専門領域における内外の学術研究を踏まえて、自らの研究を遂行できる。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：1～3年次

直接評価：研究業績および博士学位論文

間接評価：修了生調査

学修成果 4：自立した研究者に期待される高いレベルの研究を実施できる。

◇アセスメント・ポリシー

測定時期：3年次

直接評価：研究業績および博士学位論文

間接評価：修了生調査

2 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科では、経営管理（経営専修、マーケティング・国際ビジネス専修、金融・保険専修）、会計（会計専修）、産業・経済（理論・計量専修、公共政策・経済史専修）の3コース6専修を置き、それぞれのコースまたは専修を中心としながらも、広く商学全般について研究、教授を行う。

修士課程における講義科目は、学生が多角的な研究方法を学ぶとともに、専門分野に関する基礎から応用までの知識を獲得することにより、修士論文作成のための土台を形成できるように構成される。

演習科目は、講義科目よりも専門的な教材を使用し、修士論文作成のための研究テーマ設定、研究方法の習得を可能とするように構成される。また、教員と学生および学生同士の議論を通して、研究に関する知的スキルを練磨する場としての役割も担う。

研究指導においては、学生が選択した研究テーマに関して、教員から個別の指導・助言を与えるとともに、学生同士の議論を通して、より論理的かつ説得力のある研究成果をまとめ上げる場を提供する。

博士後期課程における演習科目は、学位論文作成のための研究テーマ設定、研究方法の習得を可能とするように構成される。また、教員と学生および学生同士の議論を通して、研究に関する知的スキルを錬磨する場としての役割も担う。

研究指導においては、学生が選択した研究テーマに関して、教員から個別の指導・助言を与えるとともに、学生同士の議論を通して、より論理的かつ説得力のある研究成果をまとめ上げる場を提供する。また、学生に、指導教員の研究指導に基づき、十分な時間を割いて学位論文の完成に専念することを求める。

3 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科では、高度専門職業人あるいは、高度な研究活動を自立的に行う研究者を育成するために、研究を遂行するうえで必要な高い基礎学力を備え、知的好奇心が旺盛で、本学の理念である進取の精神に富む勉強意欲の高い学生を、わが国をはじめ世界各国から迎え入れる。

このような理念のもとで、修士課程入学者の資質については、商学分野に関する学士相当の基礎知識および研究能力を有しているとともに修士学位論文作成に向けた問題意識および、研究に真摯に取り組む姿勢があることが求められる。博士後期課程入学者の資質については、商学分野に関する修士相当の専門的知識および自立した研究者を目指すために必要となる研究能力を有しているとともに博士学位論文作成に向けた問題意識および研究に真摯に取り組む姿勢があることが求められる。

上記の方針に基づき、以下の入試による選抜を行う。

【修士課程】

一般入試では、学士学位に相当する商学に関する基礎知識および研究能力を有し、自ら課題を発見したうえで調査・分析を行い一定の結論を導き出すことができる学生を世界各国から受け入れる。そのため、専攻分野に関する記述式の筆記試験および面接審査を基に総合的に評価する。

推薦入試では、本学商学部生および本学他学部生を対象に、修士学位論文作成に向けた問題意識、研究に真摯に取り組む姿勢を持つ学生を受け入れる。そのため、研究計画書を含む書類審査および面接審査を基に総合的に評価する。

特別推薦入試では、本学商学部の卒業生を対象に、実務経験等から得られる修士学位論文作成に向けた問題意識、研究に真摯に取り組む姿勢を持つ人材を受け入れる。そのため、研究計画書を含む書類審査および面接審査を基に総合的に評価する。

【博士後期課程】

一般入試では、専門領域における内外の学術研究を理解したうえで、独自性のある研究を実施できるようになるために必要な研究能力を有する学生を世界各国から受け入れる。そのため、修士学位論文および研究計画書を含む書類審査と面接審査を基に、自らの専門領域に関する修士相当の知識および研究能力、研究を進めるにあたって必要なコミュニケーション能力を総合的に評価する。

1. 出願

(1) 募集人員

若干名

(2) 出願資格

出願時において、以下の条件をすべて満たしている者。

①商学部生

- ・ 本学商学部で3年以上在学し、引き続き在学中。
 - ・ 2025年9月入学者：2025年9月に卒業見込み。
 - ・ 2026年4月入学者：学士号取得のために必要な単位数の残りが、2025年度秋学期登録制限単位数以下であり、2026年3月に卒業見込み。
 - ・ 2026年9月入学者：学士号取得のために必要な単位数の残りが、2026年度春学期登録制限単位数以下であり、2026年9月に卒業見込み。
- ・ **通算学業成績(GPA)が2.50以上。**

②他学部生

- ・ 本学各学部で3年以上在学し、引き続き在学中。
 - ・ 2025年9月入学者：2025年9月に卒業見込み。
 - ・ 2026年4月入学者：学士号取得のために必要な単位数の残りが、2025年度秋学期登録制限単位数以下であり、2026年3月に卒業見込み。
 - ・ 2026年9月入学者：学士号取得のために必要な単位数の残りが、2026年度春学期登録制限単位数以下であり、2026年9月に卒業見込み。
- ・ **通算学業成績(GPA)が2.70以上。**

(3) 5年一貫修了制度

商学部の推薦入学者の方で以下の要件を満たす希望者については、一年間の在学中で修士学位を取得することができます。

- ① 6セメスター終了時点で、GPA2.60以上（上位25%相当）。（全員適用）
- ② 4セメスター終了時点で、GPA2.70以上（上位20%相当）。（5セメスター以降に2セメスター以上の留学者）
- ③ 7セメスター以降に、大学院科目を先取り履修し10単位以上を修得。（大学院入学後、16単位まで単位認定可）
- ④ 出願時に、指導教員承認済みの「早期修了希望届」を提出。

(4) 出願日程

出願手続のすべてが期日中に完了しない限り、出願を受け付けません。

入学時期は、出願時に選択（併願不可）してください。出願後の入学時期変更は認めません。

	I 期 (2025 年 9 月/ 2026 年 4 月入学)	II 期 (2026 年 4 月入学)	III 期 (2026 年 4 月/9 月入学)
入学検定料納入期間	2025 年 5 月 30 日（金）～ 6 月 6 日（金）	2025 年 6 月 27 日（金）～ 7 月 4 日（金）	2025 年 11 月 7 日（金）～ 11 月 14 日（金）
出願期間	2025 年 5 月 30 日（金）～ 6 月 6 日（金）	2025 年 6 月 27 日（金）～ 7 月 4 日（金）	2025 年 11 月 7 日（金）～ 11 月 14 日（金）
口述試験	2025 年 7 月 5 日（土）	2025 年 10 月 11 日（土）	2026 年 1 月 31 日（土）
合格者発表	2025 年 7 月 10 日（木）	2025 年 10 月 16 日（木）	2026 年 2 月 5 日（木）

※併願は可能ですが、出願書類等はすべて再度提出が必須です。

(5) 入学検定料

以下のいずれかの方法で、納入期間中に必ず入学検定料（25,000 円）を納入してください。

①コンビニエンスストアでの支払い（【別紙 2】を参照）

- ・ 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ・ コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/>）にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- ・ 決済完了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を PDF 化し、オンライン出願システム（TAO）にアップロードしてください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です（納入最終日は「Web サイトでの申込み」は 23:00 まで、店頭端末機での操作は 23:30 までとなります）。
- ・ 家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

②クレジットカード・中国オンライン決済による支払い（【別紙 3】を参照）

- ・ クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/card/>）にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。
- ・ 決済完了が表示された Web ページを PDF 化し、オンライン出願システム（TAO）にアップロードしてください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です（納入最終日は、日本時間 23:00 までにカード決済を完了させてください）。
- ・ 支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

(6) 入学検定料返還

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

- ・入学検定料を所定額より多く支払った。
- ・入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- ・入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- ・入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

(7) 出願書類作成上の注意

- ① **出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。**
- ② 出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また、本学から連絡があった時はすみやかにその指示に従ってください。
- ③ 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

(8) 出願書類一覧

出願および書類提出は、The Admission Office (TAO) から行ってください。TAO については、【別紙 1】を参照してください。所定書式は、当研究科ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

提出物	対象	注意事項
顔写真 (縦 4 : 横 3)	全員	1. 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真 (タテ 4 : ヨコ 3 の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし) をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。 2. マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。 3. 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。 4. 顔写真には加工・修正を施さないでください。 5. スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真 (スピード写真可) で撮影してください。 6. 入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種 Web サービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。
入学検定料収納証明書	全員	
成績・卒業見込証明書	全員	・出願時に提出できる最新の証明書を提出。 ・卒業見込証明書は、発行ができ次第の提出可。 I 期・II 期 : 2024 年度秋学期までの成績 III 期 : 2025 年度春学期までの成績
GPA 証明書	全員	・出願時に提出できる最新の証明書を提出。 I 期・II 期 : 2024 年度秋学期までの GPA III 期 : 2025 年度春学期までの GPA

研究計画書	全員	・研究計画書は 2,000 字以内（参考文献の字数も含める）。 - 研究テーマ（題目）を必ず明示し、具体的に記入。 ・第一志望の研究指導名、指導教員名を記入。 （参照： https://www.waseda.jp/fcom/gsc/applicants/research ）
志望理由書	全員	・志望理由は 500 字程度 ・第一志望の研究指導名、指導教員名を記入。
早稲田大学専任教員による推薦書	全員	・商学部生は、推薦サポート制度もあり。
商学研究科修士課程 推薦入学試験奨学金 申請書兼誓約書	希望者	・商学部生の希望者のみ提出。
早期修了希望届	希望者	・商学部生で 5 年一貫修了制度希望者のみ提出。

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、【本入学試験要項巻末のお問い合わせ先】までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

志望動機やエッセイ、研究計画書等は、本研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成 AI を使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

（9）推薦サポート制度

商学部生のうち、「ゼミに所属していない」、「専門とする分野を変えたい」などの理由で推薦書にお困りの場合、推薦書作成のための教員との面談をサポートします（推薦状は教員面談の結果を踏まえて作成されます）。なお、研究指導教員はご自身で決定いただけます。面談は、志望する研究指導教員と行うわけではありませんのでご注意ください。

推薦サポート制度をご希望の方は、出願期間前の所定期間に当研究科事務所にご相談ください。

[URL] <https://www.waseda.jp/fcom/gsc/applicants/recommendation>

（10）受験票

出願受付後、出願が受理された志願者に対し、試験日の 10 日前を目途に集合時間および集合場所を記載した受験票を発送します。試験日 1 週間前になっても受験票が届かない場合は、当研究科事務所までお問合せください。

受験票は入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

2. 入学試験

(1)選考日程

	I 期	II 期	III 期
口述試験	2025 年 7 月 5 日 (土)	2025 年 10 月 11 日 (土)	2026 年 1 月 31 日 (土)
合格者発表	2025 年 7 月 10 日 (木) 10:00	2025 年 10 月 16 日 (木) 10:00	2026 年 2 月 5 日 (木) 10:00

*試験会場は早稲田キャンパスです。詳細は受験票に記載します。

*合格者発表は、当研究科ウェブサイトにて発表します。

(2)選考方法

口述試験

*推薦入試は、筆記試験が免除されます。

3. 入学手続

入学手続きは所定の期間内に、①入学手続情報の入力＜UCARO＞②入学手続料（入学金・学費・諸会費）の納入＜銀行振込＞、③入学手続書類提出＜郵送＞の3点を完了することにより、入学手続が完了します。

(1) 入学手続締切日

期	入学時期	入学手続料支払い締切	入学手続き書類提出締切 (必着)	入学手続書類送付時期
I 期	2025 年 9 月	2025 年 7 月 18 日 (金)	2025 年 8 月 18 日 (月)	合格者発表と同時
	2026 年 4 月	2025 年 12 月 5 日 (金)	2026 年 2 月 13 日 (金)	10 月に入学手続料の案内、 1 月末に二次手続き案内
II 期	2026 年 4 月			
III 期	2026 年 4 月	2026 年 2 月 13 日 (金)	2026 年 2 月 13 日 (金)	合格者発表と同時
	2026 年 9 月	2026 年 7 月 17 日 (金)	2026 年 8 月 17 日 (月) 予定	6 月に入学手続料案内、 7 月末に二次手続き案内

(2) 入学手続書類

- ① 学費等振込領収書のコピー
- ② 住民票
- ③ 卒業証明書、成績証明書（学歴に記載した全ての大学）原本
- ④ 研究倫理に関する誓約書

(3) 入学に関する注意点

- ① **2025 年 9 月入学者は学部を 2025 年 9 月卒業、2026 年 4 月入学者は学部を 2026 年 3 月卒業、2026 年 9 月入学者は学部を 2026 年 9 月卒業**できなかった場合は、入学資格を満たさないため、入学できません。
- ② 必要に応じて、指導教員が入学前もしくは入学後に課題提出や商学部科目の聴講、基礎科目履修等を要求することがあります。

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学院入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学院入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

一度提出した書類および納入した入学金、学費、諸会費は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費、諸会費のみ返還の対象となります。また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、既に納入した入学金、学費、諸会費を入学希望研究科の費用に振り替えることができます（入学手続期間が全く重ならない研究科間に限られます）。手続方法等の詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

（４）学費・諸会費

2025 年 9 月入学者の場合

納入期	学 費		諸 会 費				合 計
	授業料	演習料	学 会 費	学友会費		学生健康増進	
			年会費	入会金	年会費	互助会費	
入学時 (秋学期)	335,000	1,000	1,000	1,000	1,250	1,500	340,750
春学期	335,000	1,000	1,000	-	1,250	1,500	339,750
計	670,000	2,000	2,000	1,000	2,500	3,000	680,500

(単位：円)

*2026 年 4 月以降の学費については当研究科ウェブサイトをご参照ください。

[URL] <https://www.waseda.jp/fcom/gsc/applicants/tuition>

*本学、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。

詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

*2026 年度以降の演習料および諸会費は改定となることがあります。

（５）奨学金制度

以下は、商学部学生のみ対象となる奨学金です。他学部出身の学生については、入学手続の手引きとともに送付する「奨学金情報 Challenge」等を参照してください。

なお、外国人留学生の方は奨学金制度が異なりますので、以下のウェブサイトより留学センターの情報を参照してください。

[URL] <https://www.waseda.jp/inst/cie/life/aid>

① 商学部寄附講座大学院進学奨学金

対象者：早稲田大学商学部在学学生で、推薦入試で早稲田大学大学院商学研究科に進学する者

採用者：合計25名（成績等により判断）

申請方法：他の出願書類とともに「商学研究科修士課程推薦入学試験奨学金申請書兼誓約書」を提出してください。

申請締切：入試の各出願締切日まで

採用通知：各合格発表から約 1 ヶ月後にメールで通知

*他の奨学金と併願することは可能ですが、商学研究科への進学支援を目的とした他の学内奨学金と併給することはできません。

*Ⅰ期での採用者が多かった場合、Ⅱ期・Ⅲ期での申請受付を行わない場合があります。

*奨学金の振込は入学手続きを完了した方に限ります。

*奨学金は学部生のうちに振り込まれます。

② 寺尾巖奨学金

対象者：早稲田大学商学部在学学生で、推薦入試によって早稲田大学大学院商学研究科に進学する成績最優秀者

採用数：Ⅰ期1名（Ⅰ期に出願者がいない場合、Ⅱ期・Ⅲ期の出願者より選考する）

*申請方法・申請締切・採用通知は、「商学部寄附講座大学院進学奨学金」と同様です。

(6) 教育職員免許状

当研究科修士課程では、次に挙げる教科の教育職員免許状を取得できます。これらの免許状を取得するためには、取得を希望する各教科の第1種免許状を取得している（または、取得見込みである）ことが必要です。各免許状の取得要件等詳細は、当研究科事務所にお尋ねください。

中学校教諭専修免許状：社会

高等学校教諭専修免許状：商業、公民

*当研究科では、高等学校教諭専修免許状「地理・歴史」の課程認定を受けておりません。

4. 受験上の注意

- ・ 基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・ 学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ・ 上記に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ・ 欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。
- ・ 試験当日は救護所に医師が待機しており、診察を受けることが可能ですので、必要に応じてご利用ください。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員に速やかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診察等にかかる試験時間の確保・延長はありませんので、注意してください。

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とすることがあります。
2. 次のことをすると不正行為とすることがあります。
 - ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
 - ② 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ③ 試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
 - ④ 試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑥ 試験場において監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑦ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑧ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
 - ・ 監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・ 別室または別席での受験を求めること。
 - ・ 本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消の対象となることがあります。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍（出身）大学・保護者等への報告を行う場合があります。

◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

<受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合>

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問い合わせください。

早稲田大学大学院商学研究科（入試係）

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学大学院商学研究科（早稲田キャンパス 11 号館 3 階）

TEL 03-3202-4369（お問合せ時間：月～金 9 時～17 時）

E-mail gsc-ad@list.waseda.jp FAX 03-5273-4371

<https://www.waseda.jp/fcom/gsc/applicants/admission/master>